

「あすみやサロン」は地元の方々が気軽に集う場所です。その方々からの推薦もあり、今年、ときわ台自治会で副会長を務めていました。

今までは、「たれかが担ってくれていたこと」も高齢者や女性も含め皆で支え合い、助け合い、負担していかなくてはならない時代。「面倒くさい」「大変だ」と思っていたら、何も始められない！と自分から一歩を踏み出しました。

また、富士吉田防災士会にも加入し、災害時の「共助」の大切さや地域の「絆」の尊さを学ぶ機会があり、改めて自分の住む地域について考えさせられ、何かをはじめなければとの使命感を抱ききつかけになりました。でも、地域のた



ときわ台自治会 宮下 和美さん

顔見知りの笑顔が毎日楽しくする

め、皆のためなどという高尚な考えではなく、「自分らしく人生を楽しむ」という感覚で自治会活動にもチャレンジしたことで、負担感や大変さは気にならなかつたように思います。

「いま、この瞬間、災害が発生したら・・・」過去の災害時、実際に大勢の命を救ったのは、住民の助け合い（地域の絆）によるものです。人口は減少し核家族化も進む中、地域では独居高齢者宅も増えています。私自身も単身世帯だからこそ「地域とのつながり」の大切さを強く感じています。昔から、ご近所は家族の延長という言葉もあるように、顔見知りがいっつも笑顔でいさつでできる環境が、私の人生を楽しくしてくれています。



中央区自治会 萱沼安昭さん

家族ぐるみで地域に守られる

今、中央区の自主防災会の会計を担っています。以前は消防団員や育成会の役員としても地域（自治会）と関わってきました。

世間的には働き盛りといわれる年代で、仕事や子育てに忙しく、地域のことにはあまり手が回らないのが現状。でも、中央区の育成会は業務

支え合い

交流

地域

安全・安心のまち 住みよいまち

市民協働によるまちづくりの実現に向けて！

「遠くの親戚より近くの他人」と言われるように、いざという時に頼りになるのがお隣さんや御近所の皆さんです。自治会は、縁あって同じ地域に住む人たちが、互いに手を携え、支え合いながら安心して住みやすいまちづくりを進める住民組織です。現在、市内には33の自治会があります。これからも皆さんのご理解とご協力をお願いします。

問合せ ■ 富士吉田市自治会連絡協議会 事務局：市民協働推進課 ☎内線 203



自治会は地域を支える絆を育む

「生まれ育った地域（まち）を好きになる」、「住み続けたい地域がある」、「未来につなげたい地域がある」ことは、とても魅力的だとは思いませんか。そんな地域を築くのは、人と人との絆です。



平成 28 年富士吉田市自治会 連絡協議会長 杉本 武雄さん

いざというときのために

人と人とのつながりを土台に形成される地域コミュニティは、防災・防犯や福祉、環境美化、まちづくりなどの基盤となるものであり、住民が安全かつ安心して平穏な生活を送るうえで大切なものです。また、住んでよかった、これからも住み続けたいと思



える地域をつくっていくためには、自ら地域のことに関わり、地域のことを考えて行動しなくてはなりません。

特に自治会は、地域コミュニティの中心的な存在として、関係団体と協力しながら、安全安心な地域づくりを目指し、さまざまな分野で活動しています。だからもう一度、自治会の必要性を再認識し、日

ごろから交流と親睦を通じて、地域の絆や連帯意識を高める取り組みが必要です。皆さんの中には、「ご近所づきあいがなくても困っていない」という人もいるかもしれませんが、普段、何の問題もなく生活しているときには、気づかないかもしれません。いざというときに頼りになるのは、地域の絆自治会です。東日本大震災の教訓から、支え合いや情報伝達の大切さが痛感されています。



主な活動



通学路の安全確保



レクリエーション交流活動



自主防災活動

絆は形あるものではありません。だからこそ、さまざまな方法で伝え、育む努力が必要です。一人ひとりの小さな目配り・心配り、そして地域活動へ踏み出す勇気が、地域の活性化につながります。いざというときのためにも、自治会活動に参加し、自分の地域を知り、隣近所との交流を深め、地域の絆を強めましょう。

ばり災害などの「もしも」の時の支え合いかなと思えます。自分が会社にいる時や子どもの通学中に災害が起きるかもしれない。自分がいつでも守れるとは限らない。そんな時に手を差し伸べて、声を掛けてくれるような地域であってほしいです。

だからこそ、これからも地域のつながりを大事にしていきたいです。